

- 1 日 時 平成25年 8月24日(土)
- 2 会 場 むつ市教育研修センター 研修室
- 3 参加者 12名(午前10名 午後12名)  
(下北地区9名 十和田より3名参加)
- 4 内 容 ①講師による講義 質疑  
②事例研究(発表者 山田真理子:学会員 原美樹:学会員)

【参加者から】

- 少人数(今回は12名)の研修会で、講師との距離が近く、受け身ではなく双方向で行き来している感じがした。自分が困っていることや知りたいことについて話せる時間がもっとあったらいいと思った。
- アセスメントがいかに重要か、そして「見立て」を間違えると、全然意味がなかったり、逆に大変な結果に繋がるような対応をしてしまうことになるのが分かった。アセスメントの方法と、「見立て」の力をつけたい。
- 今までどう理解すればいいのか困っていたが、今回参加して、そうだったのか、と理解できた部分がとても多かった。学校に帰ったら早速接し方を工夫してみようと思う。
- お昼を挟んで実質5時間くらいの研修だったが、時間が足りない!もっと聞きたいし、こちらからも話したいこともいっぱいあった。泊まりがけの勉強会などもやってみたい。
- 二次障害に繋げてはならない、そのためにもアセスメントをしっかりとやって、見立てを間違えることがないように、自分たちが勉強していかなければならないと思った。
- 保護者との関わり方が難しいと感じているが、こちらが知識と情報を十分に持って、子どもの将来のために今必要なことが何かをちゃんと伝えれば、通じるのだと思った。だからこそ、知識と情報をしっかりと身に付けることが大切だと感じた。
- こういう機会がもっともっとあればと思う。
- これまでだいたい参加しているが、やりたいこと、知りたいことがいっぱい時間で足りない。他の地区でもやってもらえれば行きたい。